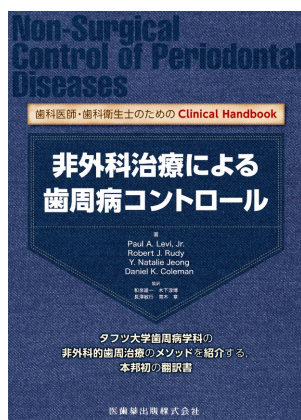


コンプライアンスから
コンコードانسへ

歯科医師・歯科衛生士のための Clinical Handbook
非外科治療による歯周病コントロール
 和泉雄一・長澤敏行・木下淳博・青木 章 監訳/
 Paul A. Levi, Jr.・Robert J. Rudy・Y. Natalie
 Jeong・Daniel K. Coleman 著

B5 判/240 頁 定価 10,800 円：本体 10,000 円＋税
 医歯薬出版（2018 年 6 月）

医療法人社団池田歯科クリニック
 評・佐藤昌美（歯科衛生士）



歯周治療を学ぶ成書（教科書）のなかに、『グリックマン臨床歯周病学』（西村書店）があります。歯科医師を目指す学生のテキストなので、私たち歯科衛生士には馴染みが薄いかもしれませんが、世界的にスタンダードな 1 冊です。

本書は Dr. グリックマンの考え方を受け継ぐタフツ大学歯周病学科の先生たちが、歯科医師と歯科衛生士、学生、研修医のために書いた歯周病学の基礎と臨床についてのハンドブックです。

難しそうにみえますが、本書のテーマは歯科衛生士のスキル（能力）が発揮できる非外科治療です。大きなカラーイラストと写真を交えて歯肉と歯の解剖、歯周病検査や診断に関する知

識を整理したうえで、患者さんが行うプラーク除去の方法を述べています。

また、X 線写真の読影の仕方や治療計画の考え方、スケーリング・ルートプレーニングを中心にした歯周基本治療の手技、局所麻酔の理論などを解説して、非外科的治療の手順や、メインテナンスプログラムに基づいた天然歯とインプラントのケアについて説明しています。

本書の特徴は、“患者さん”と“私たち”双方の視点から非外科治療をとらえている部分にあります。「**口腔の健康を保つ鍵は、患者の手技と心構えにある**」という一文は、治療がプラークコントロールに大きく左右されることを示します。“手技”はプラークを取り除くセルフケア，“心構え”はモチベーションです。

どちらもときに難しく、試行錯誤することがあると思います。著者らはその壁を乗り越えるために「**患者が誰かに言われたから毎日プラークを除去する（コンプライアンス；忠実に従う）のではなく、心からプラーク除去を行う（コンコードانس）ように動機づけることがわれわれの仕事である**」と考え、「自分の患者のことをよく知り（中略）理解することが非常に重要である」と述べています。そのメッセージは、口腔衛生指導に悩む自分の心に強く響きました。

本書で紹介されるのは歯周病を非外科的にコントロール（管理）する“学び”と“練習”のメソッド（方法）です。歯ブラシやスケーラーの使い方、薬物療法や禁煙への支援の仕方など、日々患者さんに寄り添う手がかりがあちこちにちりばめられています。知識と技術は臨床で経験を生み出します。非外科的な方法で歯周病が治る経験は、歯科衛生士としての工夫や知恵を生み出す財産です。ぜひ本書を片手に、歯周病を治したいと願う患者さんの非外科治療に“挑戦”してください。